

いよいよ完成間近 熊野町立図書館を現地視察

熊野町立図書館の概要

延べ床面積

1600平方メートル

所蔵書数

75,000冊（最大時）
（児童書は開館時約13000冊を予定）

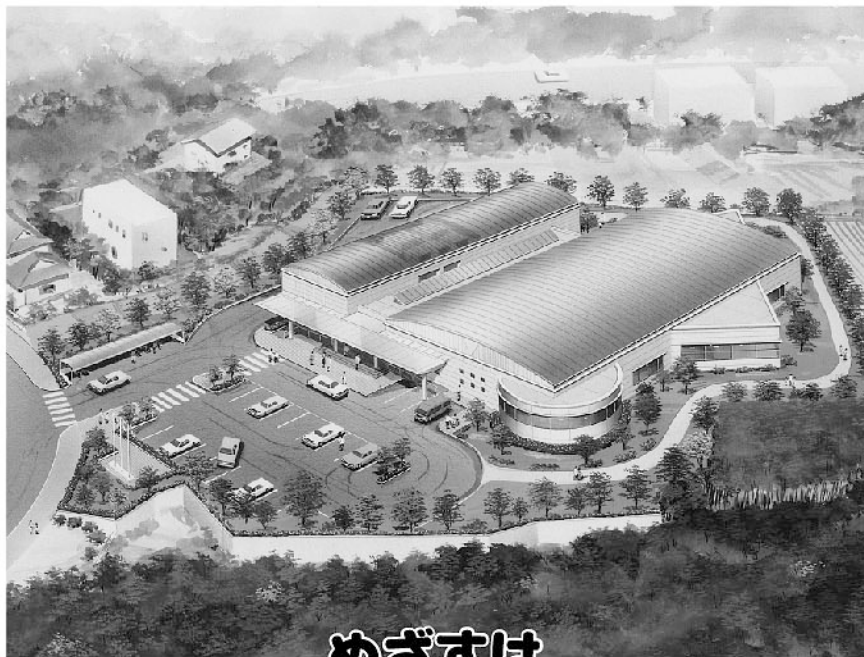
インターネットコーナー

インターネット接続パソコン10台。
ノートパソコン5台。

その他

- ・視聴覚コーナー（8ブース）では、ビデオやDVD、CDの視聴ができる。
- ・対面朗読室では目の不自由な方のために、希望の本を朗読するサービスもある。

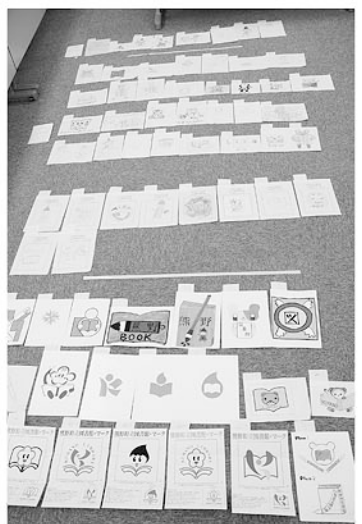
熊野町立図書館の完成予想図



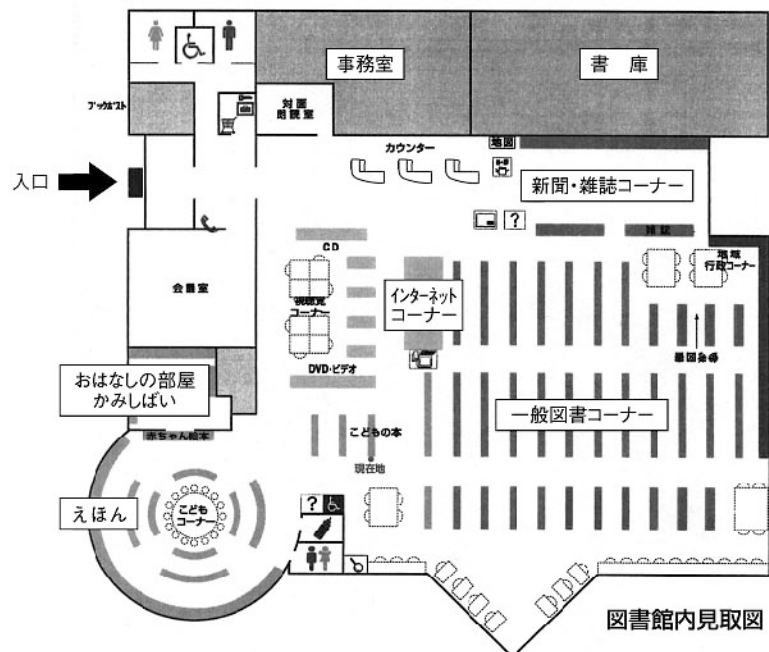
めざすは

**いつでもどこでもだれでもが
気軽に利用できる図書館。**

さらに現在、昨年11月から一般公募していたシンボルマークを最終選考中である。応募総数は243点。町内の各小学校や県外からも多くの個性的なデザインが寄せられている。選考の最終結果発表は3月の予定。どんなマークになるのか楽しみなところだ。



寄せられたデザインの一部

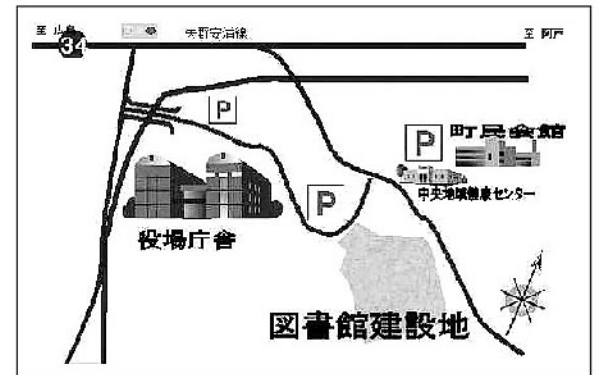


メインとなる閲覧コーナーを入口付近から撮影

かねてからの町民の要望の高い施設であった「図書館」。役場内で調査研究班が設置されたのが平成6年。そこから各種計画を策定し、議会でも図書館建設特別委員会などを設置して検討してきたが、約10年の時を経てようやく具体的な形になった。

この町立図書館は「いつでも・どこでも・だれでも」が気軽に図書や情報に関するサービスが受けられ、それによって多くの町民の生涯学習や地域コミュニティ活動を通じた生きがいづくりに貢献するために建てられる。館内にはインターネットコーナー、視聴覚コーナー、おはなしのへや、会議室など充実した内容で、さらに、授乳室も整備されるなど子育て世帯にも配慮した作りとなっている。

図書館完成まであと一歩。建物の完成は2月末、実際の供用開始は本年夏の予定。



去る12月15日、町立図書館について全員協議会で現地を視察し、担当課および建設業者から説明を受けた。町民の長年の要望であった町立図書館はどのようになるのだろうか。